



【 充実した学校評議員会 】

○ 2月9日（木）、第2回井波小学校・井波中学校 学校評議員会を開催しました。9名の委員の方々には、大変貴重で、今後の学校運営の在り方のより所となるご意見をいただきました。同時に、学校に対する励ましやねぎらいの言葉をいただき、私たちは自信をも



つことができました。私は、これまで多くの学校評議員会に携わってきましたが、これほど充実した学校評議員会はあまり経験がなく、**終わってから幸せな気持ち**になりました。本当にありがとうございました。

○ 井波小学校は、井波中学校と同じく、「ふるさと教育」に力を入れており、「井波教育B」と称しています。委員の方からは、「地域の人材を多いに活用してください。」「子供は実践の中で学ぶものです。どんどん地域に出て学んでください。」「地域のおじいちゃん、おばあちゃんは、井波っ子を温かい目で見ていますよ。」など、学校教育の中に地域と関わることを多いに推奨されたり、どれだけでも力になることを宣言されたり、本当にありがたいお言葉をいただきました。**井波地域のふるさと教育は、今後も強固なものとなって続く**ことを、私は確信しました。

○ また、「子供が育つには、子供を大事にする学校であることが大切です。仲間や先生が好きだと思えるような学校を創ってください。学校評価のまとめからも、配慮が足りないと思ったことに対しては、『申し訳ありません。』と謙虚に述べていることを見れば、大丈夫です。」というような趣旨のことも話していただきました。

○ 検討事項も多くある中、このような励ましやねぎらいの言葉をいただくと、力が湧いてくるものです。これは、大人が子供に関わる時も同じであり、改めて教師の言葉がけや接し方を見直す契機をつくっていただきました。

○ 学校評議員会でのご意見は、必ず検討します。ありがとうございました。



書き損じはがき寄贈式